

第一回アジア国立公園会議 ユース宣言
アジアのユースの手により守る保護地域の将来のあり方
(仮訳)

2013年11月17日

私たちアジアのユースは、第一回アジア国立公園会議に参加する機会をくださった主催者に感謝します。アジアや他の地域から集まったユースは、自分たちの考えや希望、懸念について発表し、話し合う機会を持つことができました。

1. アジアの自然と文化

アジアでは、自然は大切に守られ、利用されてきました。昔からの言い伝えや伝統の中に、自然の中で生きていくための様々な知恵があります。このような知恵は、自然への敬意や畏れを通して培われ、私たちの生活に根づいていました。

私たちは保護地域やその周辺に伝わる伝統的な知識や視点、経験を引き継いでいきたいと考えています。そのような知恵の伝承の機会や促進につながるプログラムを歓迎します。ネットワーキングも、こうしたプログラムをより効果的に進めるのに重要です。

2011年、東日本大震災による津波に襲われたとき、昔使われた山道が避難路として重要な役割を果たしたように、伝えられた知恵の重要性は明確です。生活様式の変化に伴い、そのような畏敬の念や知恵は失われつつありますが、自然だけではなく歴史や文化も学ぶことのできる廃道の復元は、知恵や視点を活かした災害危機管理につながるでしょう。また、伝統的及び現代的な手法の統合は、互いに補完し合うバランスのとれた取り組みとなるとともに、地域の人々の保全への参加とオーナーシップも生み出すでしょう。

2. 参加の促進と教育

子どもの頃の自然体験は、持続可能な社会を実現するのに欠くことのできない想像力、洞察力、独創力を培う鍵となります。そのためには学校教育が重要です。将来を担うユースは学校にいるからです。生徒にも先生にも、保護地域などの自然について自然の中で学ぶ機会やカリキュラムがもっとあるといいでしょう。

保護地域の保全には多様なステークホルダーが関わる必要があります。自然保護について、これまでも多くの会議が開かれ、様々な提案がなされてきましたが、その後のフォローアップが弱いのではないかと感じています。そのような提案が実行されるよう、更なる努力がなされるべきでしょう。加えて、このような会議に集まる人のほとんどは既に自然に関心を持っている人たちです。直接的に自然保護に関わっていない人にどうしたら関わってもらえるか、興味を持ってもらえるか、新しいアプローチを考えなくてはなりません。人々に、地域的、国内的、国際的な目に見えないつながりに気づいてもらうことで、社会を変えることができるでしょう。

3. 雇用機会とキャパシティビルディング

公的及び民間セクターにおける、自然に携わる仕事に就く機会やインセンティブの充実を期待します。例えばそれは、保護地域のレンジャー数や保護地域そのものの数、面積を増やすことなどです。そのような手段なしには、ユースが持続的に自然の保護・管理に貢献し続けることは困難です。自然保護に関わる仕事の社会的な認知の向上や所得水準の改善が、このような仕事に就くユースを増やすことにつながります。

自然についての学問や活動を継続し、活用できる社会環境を望みます。私たちには、学業を通して身につけた自然保護の知識を活かし、更に能力を強化できることが重要です。例えば、ツーリズムなどを通じた自然資源のワイズユースによって地域の活性化に貢献できるような活動やビジネスを創出し、実施することもできるでしょう。CSV（共有価値の創造）に興味のある企業など、様々なステークホルダーとの協力の機会も増えると思います。

4. ネットワーキング

今回、アジア国立公園会議は、アジアのユースにネットワーキングの絶好の機会を与えてくれました。このようなネットワーキングの機会が、学際的にも、国際的にも、より多く創出されることを期待します。ディスカッションを通じてわかったことは、世界の様々な地域から集まった柔軟な心を持つユースのネットワークは、その加速力をもって、革新的創造、効果的なアウトリーチ、資金集めまでも行います。このような活動は、地域の人が見逃していた自然や文化の価値に気づかせてくれます。私たちはアジアの自然保護のためのユースネットワークを立ち上げました。ユースの貢献を社会に対してもっと見えるように発信していきます。

むすび

私たちは、今回のアジア国立公園会議に参加し、ユースの声を届ける機会を与えていただいたことに感謝しています。アジアのユースの声が来年の世界国立公園会議で反映され、考慮されることを望みます。私たちは将来の保護地域のためにはユースが不可欠で、変化の原動力であることを強調したいと思います。私たちは語り合ったことを心にとめて、いち早く実行に移したいと考えています。アジアのユースは、この会議から保護地域の創設、管理、推進に関しての直接的かつよりよい関与のための協働かつ協力の機会を得られることを期待します。最後に、私たちは、自然と保護地域の保全のために取り組む意思があり、貢献したいと思います。

第一回アジア国立公園会議ユースセッション参加者一同